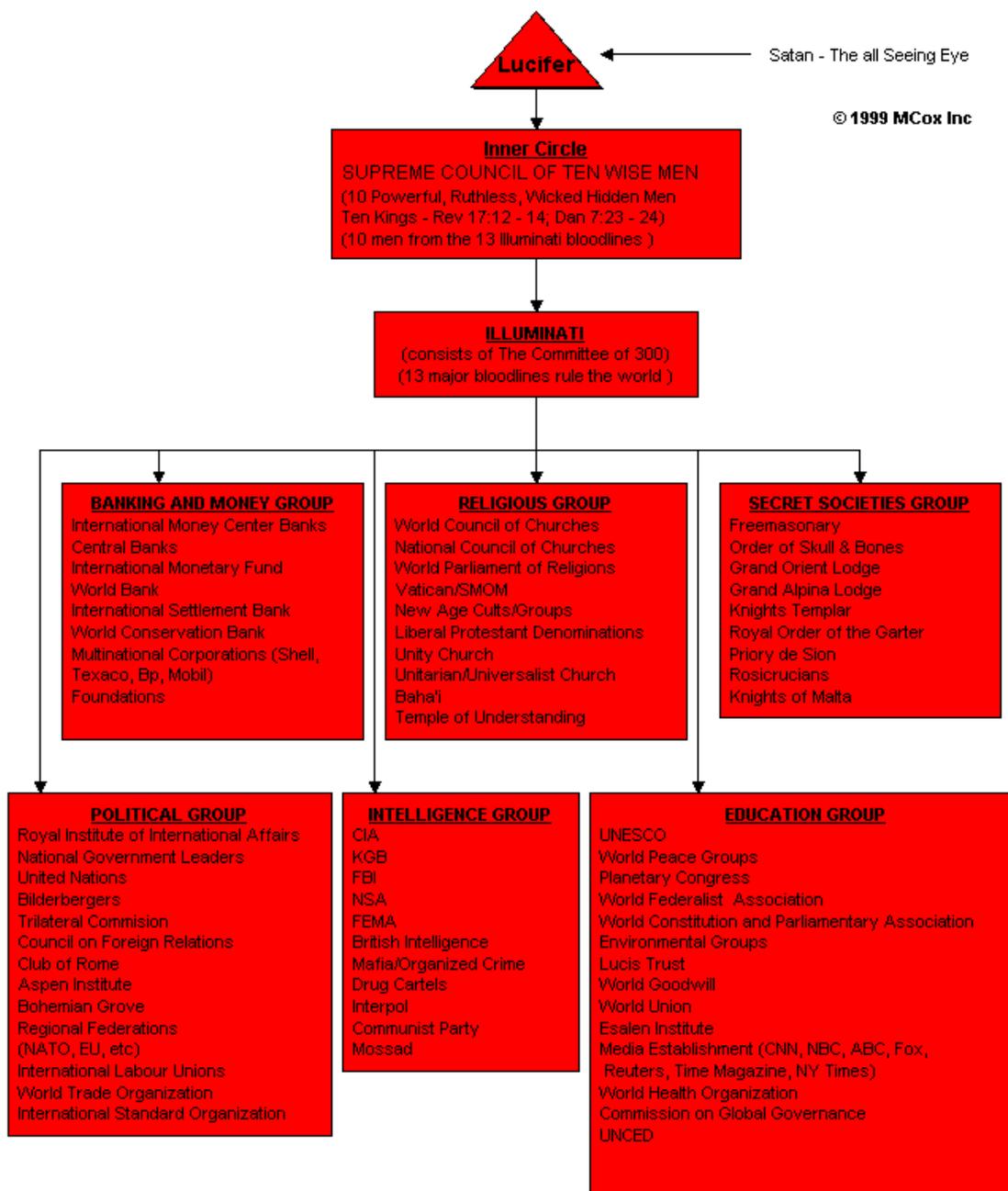


ルシファーを頂点とする世界の悪の支配構造

Greatchain

December 12, 2022



このピラミッド図は、ここだけでなく、いろんなところに、さまざまな形で描かれていることを知っている方は、少なくないであろう。我々はこの版の存在をかなり前から知っていて、かなりの人々に頒布もしていたが、最近、それがヴァージョン・アップされていることに気づいたので、ここに紹介しようと思う。

これは、この世界の真実を知るのに欠かせない、貴重な資料である。基本は変わっていないが、今までになかった項目や表現が取り入れられている。かなり前から、この図を見せるとアツと驚く人もいて、これが闇に隠された、知ってはならないものであることがわかる。ざっと見るだけで、この悪の集団が、世界のあらゆる活動部門において、その構造や組織を、見事に、がっしり固めた、恐るべきものであることがわかる。

現在も、全くこの通りかどうかはわからないが、ほぼこの通りであろう。我々（特に私など）が真っ先に感ずるのは、その空恐ろしさである。この徹底した悪は日本人には理解できない。しかし、これがもし、明かにルシファーの側に立つ、政府やマスメディアの教育が、徐々に我々の良心や常識を、蝕みつつあるのだとしたら、どう対処すべきか？ 前の記事で言及したプーチンのように、罰則を厳しくして、対処すべきだろうか？ しかし大多数の日本人が、こんな事実を夢にも想像できないとしたら、おそらく、これを紹介する私のような者が、まず攻撃されるであろう。とすれば、何を、どこから手を付けたらよいのか？

まず天辺にルシファー（これは霊的存在であろう）が君臨し、「最高評議会の十賢者」として、**強力で無慈悲で邪悪な、隠れた「十人の王」**がいる。彼らは「イルミナティ 13 血族」の中の 10 人であるらしい。イルミナティは「300 人委員会」から成っている。

彼らの組織は、6 つの活動部門から成っている——銀行業とマネー部門、宗教部門、秘密結社部門、政治部門、諜報部門、教育部門。我々は、銀行や秘密結社、政治や諜報などは、どうせ、カネまみれの汚い世界だろうと思うが、宗教や教育については、そうは思わなかったであろう。そこに彼らの恐るべき狡知が見える。

宗教部門には、**ヴァチカン**をはじめ、普通のキリスト教教団が属しているのであって、サタン教団などというものはない（SMOM はマルタ騎士団教会）。ヴァチカンは、たまたまペドフィリアなどによって墮落したのでなく、それは彼らの予定したものだだった。

教育部門に属する集団には、**ユネスコ**、世界平和グループ、世界連邦協会、世界憲法と議会協会、**環境グループ**、世界ユニオン、メディア既成グループ（**CNN**、**NBC**、**ABC**、**Fox**、**ロイター通信**、**タイム・マガジン**、**NY タイムズ**）、それに **WHO**（世界健康機関）、グロー

バル・ガバナンス委員会などがある。これらの団体やメンバーの多くは、自分が属しているものが何なのかを、必ずしも知らないだろう。むしろそれを知らず、騙されて利用されている人々が多いだろう。

諜報部門には、CIA、KGB、FBI、NSA、FEMA（大量の棺桶で有名）、イギリス情報局に並んで、**マフィア/犯罪組織**が入っているのは驚きである。かつて「CIA は天下のマフィアをも怖がらせる」と言われていたが、ついにマフィアも出世して、米諜報部に加えてもらったようである。また、（ご存知の）**ドラッグ・カルテル**、国際警察、モサド（イスラエル諜報部）に並んで、**共産党**が入っているのに驚く人があるかもしれないが、これはサタンの戦略の中心と言ってもよい。敵であるはずの中国共産党と、ルシファーの現政権は密かに手を結ぼうとしているのではないか。日本共産党も、それを受容する自民党も、ルシファーの方向（反-神の方向）に向って行動している。

秘密結社としては、最初にフリーメーソンがあげられ、次に Grand Orient Lodge や Grand Alpine Lodge など、各フリーメーソン支部が入っているから、これらはイルミナティの実働部隊だろうか？ ここに入っている不気味な名の Skull and Bones は、イエール大学の中にある建物で行われる秘儀の団体ことで、ブッシュ父子やジョン・ケリーなどが、その卒業生である。その他、テンプル騎士団、バラ十字団のような、有名な秘密結社が挙げられている。ここにある Priory de Sion は、シオニズムの「シオン」だから、「シオニスト-アングロ・アメリカン」と常用される言葉からして、この陰謀団の重要な拠点が、英・米・イスラエルであることがわかる。

政治部門については、言うべきことがあり過ぎるので、ここでは論じないが、注目すべきは、国連、ビルダーバーグ会議、（人口削減計画の）ローマクラブ、外交問題評議会、（アレックス・ジョーンズが潜入した）ボヘミアン・グローブ、それに当然、NATO や EU も、悪党の一味に組み込まれている。

我々は、この者たちの存在を知った以上は、戦わねばならない。彼らは我々騙し、プロパガンダを使い、しかし今はもう堂々と、我々の命を狙い、骨抜き（奴隷化、ゾンビ化）にしようとしている。

私は斎藤一人さんを敬愛するが、神を信じ、人を愛し、争わず無理をせず暮らしていれば、何の問題も起こらないとは、少なくともこの時点では、考えない。なぜなら、今起こっているのは、凶暴な**主権争い**だからである。本来の神の主権を奪い、乗っ取ることによって、篡奪者として我々を支配しようとしている犯罪者が、今、活動しているのである。

「神というが、そんなものは結局、権力者なのだ。そんなものは認めない。反逆して当然だ」と言うのが共産主義者である。その共産主義者に対して、堂々と戦いを挑んだのが、統一教会の文鮮明師であった。彼は、このピラミッドの頂点のルシファーと、一騎打ちをしようとした。(その豪胆さはプーチンと似ている。)しかし、カネの力に頼り過ぎたので、うまく行かず、叩かれることになった。これが現状である。統一教会の「統一」とは、争い合う諸宗教の統一、それに宗教と科学の統一である。この点で、インテリジェント・デザイン、科学者の立場からの「神仮説」と調和するが、今のところ、ルシファーに押さえ込まれている。しかし人々が言うように、光が闇に負けることはない。物語の筋書きは着々と進行していると考えてよい。